

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、下記の検査項目におきまして、検査内容を変更させて頂くことになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

敬白

記

《検査項目》	〔1852〕	血中アルドステロン
	〔1874〕	レニン定量
	〔4437〕	アルドステロン/レニン活性比
	〔4434〕	アルドステロン/レニン定量比

《変更日》 2022年3月31日（木）受付分より

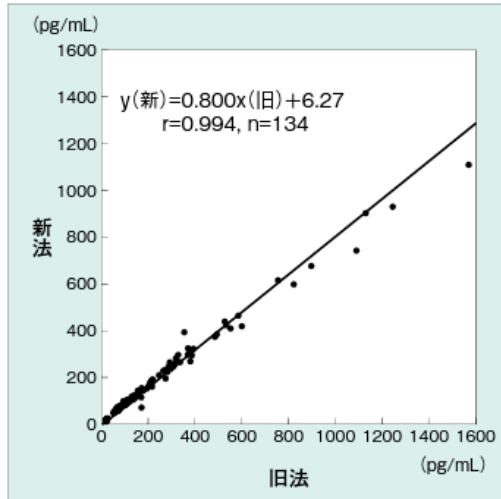
《変更内容》

検査コード	項目名称	変更箇所	変更後	変更前
1852	アルドステロン	基準値	4.0～82.1 pg/mL	随時:173.0 pg/mL 以下
		報告下限	4.0 pg/mL 未満	17.0 pg/mL 未満
1874	レニン定量(ARC)	項目名称	レニン濃度	レニン定量
		基準値	2.21～39.49 pg/mL	随時:1.2～35.4pg/mL
		報告下限値	0.20 pg/mL 未満	0.6 pg/mL 未満
		報告上限値	10,000 pg/mL 以上	5,000 pg/mL 以上
		報告桁数	小数2位	小数1位
4437	アルドステロン/レニン活性比	基準値	200 未満 ^{※1} (境界域:100～200未満)	
4434	アルドステロン/レニン定量比	項目名称	アルドステロン/レニン濃度比	アルドステロン/レニン定量比
		基準値	40 未満 ^{※1} (境界域:20～40未満)	

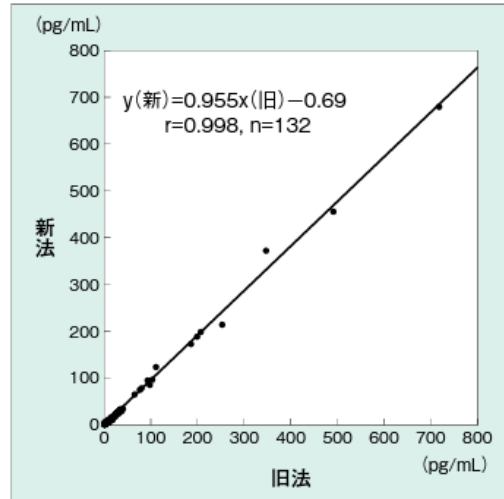
※1:結果の解釈については、裏面の「原発性アルドステロン症の新判定基準」をご参照ください。

《相 関 図》

【アルドステロン相関】
[血漿]



【レニン定量相関】
[血漿]



◆ 原発性アルドステロン症の新判定基準

	新基準	従来の基準
スクリーニング 陽性基準	血漿レニン活性 (PRA) を用いる場合	
	PAC《CLEIA法》/PRA比 (ARR) ≥ 200 かつ PAC《CLEIA法》 ≥ 60 pg/mL ただし、 PAC《CLEIA法》/PRA比が100~200 (ARR境界域) かつ PAC《CLEIA法》 ≥ 60 pg/mLの時は暫定的に陽性	PAC《RIA法》/PRA比 (ARR) > 200 かつ PAC《RIA法》 > 120 pg/mL
	活性型レニン濃度 (ARC) を用いる場合	
	PAC《CLEIA法》/ARC比 (ARR) ≥ 40 かつ PAC《CLEIA法》 ≥ 60 pg/mL ただし、 PAC《CLEIA法》/ARC比が20~40 (ARR境界域) かつ PAC《CLEIA法》 ≥ 60 pg/mLの時は暫定的に陽性	PAC《RIA法》/ARC比 (ARR) > 40 かつ PAC《RIA法》 > 120 pg/mL

PAC：血漿アルドステロン濃度